

横市地区地域福祉活動計画 「みんながつながる横一愛」



都城もちお桜まつりの風景

令和8年3月

《横市地区地域福祉活動計画策定委員の皆さん》



～これからの横市の「ふくし」を、皆さんと横一線につながって進めていきたい～

横市地区に住む子どもから高齢者まで誰もが住み慣れた場所で安全に安心して暮らし続けることができる地域づくりに向けて「横市地区地域福祉活動計画」を策定しました。

計画の策定にあたり自治公民館長、民生委員児童委員、学校や福祉施設、NPO法人、地区社協などの21名の策定委員の方々からそれぞれの立場で意見をいただきました。

5年後、10年後の自分たちの住んでいる地区を想像しながら現在の地域活動で大事にしたいことや課題、これからも大切にしていきたいこと、そのためにこれから取り組んでいくことなどについて話し合いを進めた結果、今後5年間の活動指標となる「みんながつながる横一愛」というスローガンも決定しました。策定委員の皆様、ご協力をいただき本当にありがとうございました。

今後も引き続き地域福祉の推進に取り組んでいきます。



横市地区地域福祉活動計画策定委員会
委員長 小林 貴夫

策定委員会の進め方

第1回

過去5年間の活動の中で感じた良い変化のエピソードを出し合い、グループ内で共感したものに投票。選ばれたひとつのエピソードの「ここがすごい!」と思う事を共有し、深掘りすることで、大事にしてきた価値観が見えてきました。



第2回

第1回で出し合った全員のエピソードを深掘り。キーワードを出し合い、日頃の活動でどんなことを大事に思っているか、どんなことが価値や意義だと思っているのかなどを話し合いました。



第3回

第1回～第2回で出た大事にしたい価値観(キーワード)と地区の現状や課題を確認しながら、これから取り組んでいきたいことを話し合いました。



第4回

これから取り組むことに対して何が整えば実現できるのか、「組織体制」「財源」「事務局機能」「拠点」の視点から具体的な方法を話し合いました。



第5回

できあがった計画を全員で見直し、これまで出し合った大事にしたい価値観(キーワード)をもとに、今後5年間に向けた新たなスローガンが決定しました!



地区社協のあゆみ①（設立年月日、活動の経緯など）

【経緯】

昭和57年 横市地区福祉推進委員会として設立
平成18年 横市地区社会福祉協議会へ改称
平成20年 ふれあいウォーキング
平成30年 こけない体操のつどい
令和元年 みそ汁の会
令和3年 くすのきっこ学習会
令和4年 自治公民館長と民生委員児童委員の意見交換会
おやじの料理教室（男性料理教室）
令和5年 明和っ子のびのび学習会
令和6年 地域福祉座談会
令和7年 横市ふくし広場

【受賞歴】

令和3年 都城市社会福祉協議会会長表彰
令和4年 都城市長表彰
令和5年 宮崎県社会福祉協議会会長表彰
令和7年 宮崎県知事表彰（みやざき社会貢献活動表彰）

【主な事業】

- 福祉なんでも相談窓口の開設（毎週水曜日）
- 世代間交流・ふれあいサロン、みそ汁の会の推進
自治公民館単位での実施を推進。近年では、誰もが気軽に参加できる「みそ汁の会」を発足。各自治公民館で開催され浸透してきている。
- 学習支援事業（くすのきっこ学習会、明和っ子のびのび学習会）
- ふれあいウォーキング
平成20年から続く伝統事業。ウォーキングを通じて横市の魅力の再発見や世代間交流が目的。福祉施設利用者との交流の機会にもなっている。
- 自治公民館長と民生委員児童委員の意見交換会、地域福祉座談会
- こけない体操横市のつどい
こけない体操サポーターや参加者の交流の機会。年2回開催。
- 登校見守り隊、地域安全パトロール隊研修
- 横市ダンディーズキッチン&カフェ（男性料理教室、居場所づくり）
- 横市ふくし広場
- 地区社協便り「さくら」発行

【体制】

会長1名、副会長1名、事務局長1名、会計1名、理事10名、監事2名

【構成】

自治公民館連絡協議会、民生委員児童委員協議会、小学校、中学校、保育園、福祉施設、高齢者クラブ、ボランティア連絡協議会

地区社協のあゆみ②（トピック）

【トピック①】学習支援事業

西小学校児童を対象にしたくすのきっこ学習会、明和小学校児童を対象にした明和っ子のびのび学習会を実施。長期休暇には合同イベントでサマーランチ会、クリスマス会を行っています。今年のサマーランチ会ではワクワク陶芸教室を開催！皆さん思い思いの作品を作り上げ、児童、保護者からも好評でした！



【トピック②】横市ふくし広場

横市地区内の福祉施設や学校、ボランティアの活動に興味と感心を持ってもらい、誰もが楽しく集える場を作ることを目的に、「横市ふくし広場 2025」を初開催。横市地区内の16福祉施設・団体が参加し、作品展示や販売、薬局による無料健康相談、都城高校eスポーツ部や自衛隊による体験コーナー、モバイルプラネタリウム上映などが行われました。福祉施設の協力の元、移動支援（シャトルバス）も実施。実働は少なかったものの、今後の課題である移動支援を考えるきっかけとなりました。来年度以降も継続していけるよう、地域と福祉施設等との意見交換会や実行委員会の立ち上げなどを計画しています！



【トピック③】横市ダンディーズキッチン&カフェ

かつて行われていた男性料理教室を、名称を変更して数年ぶりに開催。今年度は初めて民生委員の協力をお願い参加者を募り、そば打ち体験と食事会を楽しみました。来年度は複数回開催し、食事会の後は健康マージャンなどの遊びを取り入れるなど、楽しく気楽に集える居場所づくり（カフェ）にも取り組んでいく予定です！



創造の道すじ ～笑顔と安心を生み出す「好循環（サイクル）」～

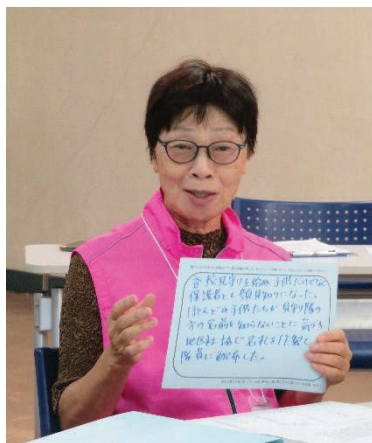
第5次地域福祉活動計画を策定するにあたり、全15地区で現状の「課題・願望」と未来への「想い」をシートに書き出しました。そこには現場のリアルな熱い想いが詰まっています。

1. 地区の全体スローガン：これから5年間の目指す地区全体の指針とは？

⇒第5回策定委員会（最終回）では、地区全体のスローガンを決めました。

2. 行動指針：地域での活動や取り組みを導く大事な価値観とは？

⇒第1回～2回策定委員会では、「最もすごいチェンジ」を出し合いました



<p>横市Aグループ</p> <p>多機能拠点</p> <p>交流の場 人と人をつなげてくれる場所 職場が地域交流 多世代交流 高齢者、学生、子育て世代と 分けない！ 多世代との関わり 場所の活用（クールシェアなど） 不登校生の居場所づくり</p> <p>話しやすさ・気軽さ</p> <p>日常会話で気兼ねがない 日常生活上での困りごとを自 然に言える 高齢者の方が話しやすい場所 肩のしやらない店 つぎやける!!ほやける!!</p>	<p>たすけあい</p> <p>助けたり 助けられたり 自分ができていることを支援</p> <p>エピソード</p> <p>野菜の直売所をしている。高齢者 のお客さんが庭の手入れのことで悩 んでいたが、それを聞いた若い農 家の方が、庭の手入れをしてくれ たと聞いた。高齢者の方はとても 喜んでいました。</p> <p>相談できる所</p> <p>相談できる 相談できる相手を見 つけられる！ 専門につなげやすい？</p>	<p>地域のとりみ木</p> <p>安心できる居場所</p> <p>居場所 茶飲み場 聞いてくれる場所 安心感 居場所 身近な所に 出入りがしやすい場所 リラックスできる場所づくり 誰かがいる</p> <p>思いやり</p> <p>思いやり 思いやりを実感 できる</p> <p>ひろがり</p> <p>同様の取組を 広げやすい</p> <p>孤立防止</p> <p>孤独・孤立を 防ぎたい！</p>
--	---	---

◆第5次都城市地域福祉活動計画「横市地区地域福祉活動計画シート」（抜粋）

地区全体 スローガン	行動指針	活動・事業
みんながつながる横一愛	地域みんなで見守り合って、つ ながり合って地域の安全の輪を 広げましょう	登校見守り隊、地域安全パトロール隊研修 ・犯罪等の未然防止のため地域の見守りの目 を増やすことが目的。

これまでの活動を整理し、未来へ向かってどう進んでいくか、「その道すじ（ロジック）」を解説します。

3. 実現に向けて必要なこと：その価値観を大事に、実現に向けて必要なことは？

⇒第3回～4回策定委員会では、「これから取り組むこと」「何が整えば実現できるか」を話し合いました。

【入り口（楽しさ・共感）：人が集まる】

多世代・笑顔・わくわく・サロン・顔見知りを増やす・参加へのハードルを下げる

↓ ここから信頼が生まれる ↓

【深まり（信頼・支え合い）：相談できる】

ちょっとした困りごと・キャッチ・見守り・楽しい場でできた関係性から

↓ これが安心をつくる ↓

【土 台（持続可能な仕組み）：無理なく続ける】

拠点・IT・自主財源

新「地区社協」創造への道すじ

実現に向けて必要なこと

これから取り組むこと

○人材確保、PRのための取り組み

- ・登校見守り隊員の活動写真やインタビュー動画を撮影してPR動画を作成し、自治公民館へ配布
- ・地区まつりや横市ふくし広場で動画を流しPRする

○学校との連携

- ・地域の危険箇所の共有

何が整えば実現できるか

【組織体制】

- ・自治公民館長、学校、小中学校コーディネーター、PTA

【財源】

- ・企業からの協力金

【事務局機能】

- ・登校見守り隊員への報酬の検討
- ・広報誌等で周知し地域の協力者を増やす
- ・学校との連携、連絡体制の整備
- ・横市地区内の企業に協力を依頼し、備品の補充に充てる
- ・研修を実施し、地域の見守りの意義を確認する機会を作る
- ・登校見守り隊員の名簿の管理（配置場所の把握等）

【拠点】

- ・地区公民館、自治公民館

目指す地区社協像

※これ以降を参照

第5次都城市地域福祉活動計画の体系図

第5次都城市地域福祉活動計画 全体スローガン

笑顔でつながり 未来を綾なす 新しい地域

新「地区社協」創造

3つの行動原則

1. 「ゴール」を目指す姿 笑顔が集まる、誰もが主役になれる居場所をつくる
2. 「エンジン」推進力 多様な力とつながり、広がる共感で地域を動かす
3. 「ベース基盤」 小さな「困った」を見逃さず、無理なく支える仕組みをつくる

実現のための4つの創造

1. 組織体制：「固定化」から「チーム戦」へ
2. 財源：「依存」から「稼ぐ力・応援される力」へ
3. 事務局機能：「事務処理」から「つなぎ役」へ
4. 拠点：「会議室」から「あたたかい居場所」へ

15地区地域福祉活動計画

姫 城／「優気」をもってふれあって 学びあってつながろう 姫城の宝たち ～姫 LOVE 増殖中！～

妻ヶ丘／笑顔で声かけ 未来へつなぐ 妻ヶ丘

小松原／世代をこえて 笑顔でつながる 小松原

祝 吉／未来につなぐ笑顔のまち祝吉 ～ありがとうをいっぱい咲かせよう～

五十市／誰もが まんなか 活気あふれる いそいち

横 市／みんながつながる横一愛

沖 水／ささえ愛 笑顔でつながる 沖水の和

志和池／みんなの笑顔でつながる未来へ ほっぶ すてっぶ 志和（しゅわ）っ池（ち）！

庄 内／地域を愛し、お互いさまの心でみんなが支え合うまち・庄内

西 岳／西岳1チーム お互いさまで、ほっこりにっこり ～ぼちぼちやっみろかい～

中 郷／みんな元気笑顔あふれるなかんごう～こども・未来・絆～

山之口／すべての住民が、いつまでも住み慣れた地域で豊かに生きがいを持って生活するために

高 城／未来へつながる ほっこり思いやりのまち高城

山 田／ふれあい、ささえあい、つながりあう 福祉のまちづくり

高 崎／支えあい未来につながる★きりり★高崎

都城市社協経営基盤強化計画

1. 組織・人材

2. 財政

3. 事業

4. 拠点

MSCのエピソード

○活動を通じて地域でおこった変化「良かったこと」「うれしかったこと」

※Most Significant Change (MSC) ≡ 「最もすごいチェンジ」



野菜の直売所をしている。高齢のお客さんが庭の手入れのことで悩んでいたが、若い農家の方が、庭の手入れをしてくれて、高齢者の方はとても喜んでいました。



公民館行事（夏まつり・敬老会など）がマンネリ化し盛り上がり欠けていたが、子どもを主体とした活動にしたら、参加者が増えてきた。



横市地区青少年育成協議会の子ども声を聞く会で、7名の子どもたちによる発表。親、地域の前で堂々として素晴らしかった。



小中学生のあいさつが素晴らしい。ボランティアでつながった小学生たちが、その後の大会の応援に来てくれた。

ほかにもこんな素敵なエピソードがありました！

○登校見守りをしている。今年卒業する生徒さんからお礼の言葉をいただき、今年で辞めようと思っていたが、今も頑張っている。

○不登校の生徒さんがスポーツを通して明るく話してくれ、あいさつをしてくれたこと！

○10年目に入った「横市地区伝統文化いけばな親子教室」の生徒の成長を見守れたこと。

○まちづくり協議会の横市川クリーン作戦にはたくさんの地域住民が参加。ごみ拾いを実施後、子どもたちによるニジマスのつかみどりや、ニジマスの塩焼きとおにぎりを食べて親睦を図れたこと。

○地区のこけない体操に参加するようになり、施設の利用者さんの「通う場所」ができた。「体操いつ？」と嬉しそう。地域の方々が私たち支援員よりも「普通」に接してくださり嬉しい！

○こけない体操。毎回参加者同士、元気な顔を見られて話もできるのがうれしいとの声。月1回の茶話会も楽しみにされている。

行動指針	現状	これから取り組むこと (令和8年度～令和12年度)
<p>子どもから大人、高齢者まで、気軽に寄れる身近な窓口として、地域の拠り所にしていきましょう。</p>	<p>① <u>ふくしなんでも相談</u> 地区公民館 (毎週水曜日 10:00～15:00)</p>	<p>【出張相談】 ・みそ汁の会やこけない体操、サロン等に出向いてPR</p> <p>【相談しやすい雰囲気づくり】 ・「ふくしなんでも相談」の名称の検討 ・子どもも気軽に来れる雰囲気や、行きたいと思う仕掛けをする</p> <p>【新たな取り組み】 ・各自治公民館の特色を生かしたフリーマーケットの推奨、支援。フリーマーケットではふくしなんでも相談の出張相談窓口を開設</p>
<p>横市住民の地区社協の認知度アップや事業の発信、各種活動のPRを通じた仲間づくり(ふくしの応援団)につなげていきましょう。</p>	<p>② <u>地区社協便り</u> <u>広報誌さくら発行</u> (年2回)</p>	<p>【地区内の情報発信】 ・地区社協事業のPR ・福祉施設や学校等のコーナーを設ける ・編集委員会の設立</p> <p>【見てもらえる広報誌づくり】 ・紙面を拡大し、内容の充実 ・引換券をつけるなど興味を持ってもらう仕掛け</p>
<p>横市のお宝やふくしを共に学び、いろいろな人と出会い交流できる、みんながワクワクできる楽しいイベントを協働して作っていきましょう。</p>	<p>③ <u>ふれあいウォーキング</u> (年1回) ・ウォーキングを通して、横市地区内を探索。福祉施設の入所者も参加しており、交流できる機会にもなっている。</p>	<p>【継続して実施】 ・継続して実施できるよう無理しない運営</p> <p>【健康づくり】 ・無理なく楽しくウォーキングができるコースを設定</p> <p>【横市再発見】 ・地元に精通した方にガイド役になってもらい、地区内の史跡を知る機会にする</p> <p>【交流の機会】 ・軽スポーツや災害時に役立つ体験学習など、皆が一緒にできて交流する機会となる</p>
	<p>④ <u>横市ふくし広場</u> (年1回) <u>新規</u> ・子ども、高齢者、障がいの有無に関わらず、すべての横市地区住民が、楽しく集える場を作ることが目的に開催。</p>	<p>【継続して実施】 ・実行委員会を立ち上げ、様々な関係機関と一緒にふくし広場を作り上げていく</p> <p>【やりがい、生きがい】 ・趣味や活動を発表、披露する場を作る ・ボランティアが活躍できる場、知ってもらう機会にする</p> <p>【移動支援体制の構築】 ・移動支援体制ができるきっかけになることも視野に入れ、誰もが参加しやすい広場となるために、福祉施設の車両を使って移動支援を行う</p>

つながる横一愛」

<p style="text-align: center;">実現するために必要なこと ①組織体制、②財源、③事務局機能、④拠点</p>	<p style="text-align: center;">目指す地区社協像</p>
<p>【組織体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉関係（施設や学校）とつながる ・相談内容に応じて、専門職が得意とすることに協力をもらう <p>【財源】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国庫補助金の活用（ふくしなんでも相談員報酬） ・自治公民館でのフリーマーケットで、地区社協でも販売し財源にする <p>【事務局機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談内容、対象者によって各分野、団体、サークルと連携して対応できるような体制を作る ・相談数増加に合わせてふくしなんでも相談員の増員、人材の発掘 ・地域の方々、施設関係へのPRを強化 ・地域と交流したい福祉施設への、交流の場などの情報提供 <p>【拠点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治公民館、児童館（施設）、児童センターなどへの出張相談 ・こけない体操や健康診断の日にはふくしなんでも相談窓口を開設 	<p>①組織体制：「固定化」から「チーム戦」へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人脈を活かし、幅広い人に声掛けしながら年齢層の厚い組織体制にする ・地区社協担当者の増員 ・学校関係者の役員 ・理事参入 ・関係機関とつながりのある地域 ・専用事務室の確保 ・有給職員の雇用 ・法人格の取得（NPO法人、一般社団法人等） ・策定委員会のメンバーを構成メンバーにする ・有償ボランティアの拡大 ・地元企業の参画 ・動きやすいポストづくり
<p>【組織体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉施設、学校、地域で活動している団体、地元企業など ・中学生、高校生 <p>【財源】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤い羽根共同募金 ・地元企業などからの協賛 <p>【事務局機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域での取り組みや、掲載を希望する福祉施設、学校等への取材 ・地元企業へ協賛の依頼 ・地区社協役員以外の地域の方や、子どもを含めた編集委員会の設立 <p>【拠点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区公民館 	
<p>【組織体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自公連、民児協、ボランティア連協、高齢者クラブなど地域の団体 ・地域の史跡に詳しいガイド役の地域の方 ・横市ふくし広場でつながりができた団体 ・中学生、高校生のボランティアや学習支援事業に参加している児童 <p>【財源】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現行予算の範囲で実施 <p>【事務局機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他団体との連携 ・安全なコースの検討と確認 ・参加者、参加団体への周知、広報 <p>【拠点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もちお公園や肱穴公園など横市地区内でコースを設定 	
<p>【組織体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉施設、学校、地域、地域貢献したい施設、団体、企業との連携 ・中学生、高校生、地域のボランティア <p>【財源】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出店代、当日に地区社協事業への寄付金を募る ・地元企業からの協賛 <p>【事務局機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容や開催場所、時期などを役員会で協議、各団体との協議、連携 ・出店、参加しやすくするためのサポート ・福祉施設等の協力をもらい、当日の移動支援を実施 <p>【拠点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区体育館や西小体育館など、駐車場がある場所での開催を検討 	

行動指針	現状	これから取り組むこと (令和8年度～令和12年度)
<p>次世代を担う横市っ子の未来応援と子どもを接点とした取組を通して、横市住民とのつながりや笑顔あふれるまちにしましょう。</p>	<p>⑤ <u>学習支援事業</u> くすのきっこ学習会（西小） 明和っ子のびのび学習会（明和小） ・6月～2月毎週水曜日に実施。長期休暇には合同イベントを開催。</p>	<p>【大人以外との交流の機会】 ・中学生、高校生ボランティアに学習会に参加してもらう</p> <p>【継続的な実施】 ・学習支援サポーターや学校と連携、協議しながら事業を継続していく</p>
<p>地域のみんなで見守り合って、つながり合って地域の安全の輪を広げましょう</p>	<p>⑥ <u>登校見守り隊、地域安全パトロール隊研修</u> (年1回) ・犯罪等の未然防止のため地域の見守りの目を増やすことが目的。</p>	<p>【人材確保、PRのための取り組み】 ・登校見守り隊員の活動写真やインタビュー動画を撮影してPR動画を作成し、自治公民館へ配布 ・地区まつりや横市ふくし広場で動画を流しPRする</p> <p>【学校との連携】 ・地域の危険箇所の共有</p>
<p>世代をこえて、心がつながる、笑顔でつながる、地域に役立つ、やさしさあふれる取り組みをしましょう。</p>	<p>⑦ <u>ふれあい年賀状</u> (年1回) ・70歳以上一人暮らしの方に向けて、小学生、保育園児に年賀状を書いてもらい、配布。</p>	<p>【新規事業の実施】 ・時代の変化に対応して、これまで実施してきたふれあい年賀状に代わる新たな多世代交流の機会を検討</p> <p>【自治公民館長、民生委員との連携強化】 ・ふれあい年賀状から訪問事業に代えて、自治公民館長と民生委員の連携強化を図る</p> <p>【多世代交流】 ・小学生も民生委員と一緒に訪問したり、メッセージを書いてもらうことで多世代交流の機会にする</p>
<p>横市住民を身近に支える方々の相互理解とつながりを広げ、住民のふくしの向上や新たなニーズへの対応、変化に気づける地域にしましょう。</p>	<p>⑧ <u>自治公民館長と民生委員児童委員の意見交換会</u> (年1回) ・地域の要支援者の把握や、気になる世帯、場所を共有 ・令和7年度は個別避難計画作成ワークショップを実施</p>	<p>【意見交換会】 ・地域の要支援者把握を継続して実施</p> <p>【地域での支援体制・チームづくり】 ・地域、福祉施設合同の防災訓練の実施</p> <p>【小規模での見守り】 ・様々な活動の継続のため、ボランティア組織が全地区にあることを理想としつつ、情報共有、発信</p>

<p style="text-align: center;">実現するために必要なこと</p> <p style="text-align: center;">①組織体制、②財源、③事務局機能、④拠点</p>	<p style="text-align: center;">目指す地区社協像</p>
<p>【組織体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習支援サポーター、主任児童委員や学校との連携 ・中学生、高校生、地域のボランティア <p>【財源】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習支援事業の助成金を活用 <p>【事務局機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生、高校生にボランティアの呼びかけ ・夏休みに宿題をする合同学習会を複数日で開催し、中学生、高校生ボランティアにも参加してもらう <p>【拠点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区公民館、自治公民館、中学校、高校 	<p>②財源：「依存」から「稼ぐ力・応援される力」へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人サポーターの募集 ・協賛企業（スポンサー）の発掘 ・自主財源確保のためのツール開発
<p>【組織体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治公民館長、学校、小中学校コーディネーター、PTA との連携 <p>【財源】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元企業からの協賛 <p>【事務局機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登校見守り隊員への報酬の検討 ・広報誌等で周知し地域の協力者を増やす ・学校との連携、連絡体制の整備 ・横市地区内の企業に協力を依頼し、備品の補充に充てる ・研修を実施し、地域の見守りの意義を確認する機会を作る ・登校見守り隊員の名簿の管理（配置場所の把握等） <p>【拠点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区公民館 	<ul style="list-style-type: none"> ・社協のファンを増やして財源確保 ・サロン等のイベント参加費 ・地区社協の宝くじ（抽選方式の協賛） ・人材を活かした収益事業（演奏、手品） ・物品販売
<p>【組織体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治公民館長、学校、民生委員、子供会との連携 ・学習支援事業の参加児童にも協力してもらう <p>【財源】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元企業からの協賛 <p>【事務局機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者の把握 ・友愛訪問などを実施している他地区との情報交換 ・民生委員の見守りと友愛訪問と絡めて訪問活動を実施 ・民生委員と児童の訪問の調整、児童にメッセージを書いてもらい配布 ・企業への協賛の依頼 ・訪問時に必要な物品の準備 <p>【拠点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区公民館、自治公民館 	<ul style="list-style-type: none"> ・場所、物の貸し出し ・有償サービスの導入 ・忌明け寄付の活用
<p>【組織体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員、自治公民館長、こけない体操ボランティア、地域包括支援センターとの連携 ・福祉施設、ボランティア連協や高齢者クラブなど地区の団体との連携 <p>【財源】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉座談会と一体的に実施 <p>【事務局機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治公民館単位の組織の把握、連携、調整 ・地区内外の取り組み事例の情報提供や発信 ・地域と福祉施設合同の防災訓練を企画、協働して実施 <p>【拠点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見交換会は地区公民館や自治公民館で開催 ・防災訓練は福祉施設で実施 	

行動指針	現状	これから取り組むこと (令和8年度～令和12年度)
<p>だれもが明るく楽しく無理せずに参加できる、みんなの居場所を作っていきます。</p>	<p>⑨ <u>ふれあい活動や「みそ汁の会」の推進</u> ・各自治公民館単位でのふれあい活動に活動費を助成。 ・「みそ汁の会」の全自治公民館での実施を目指している。</p>	<p>【ふれあい活動の推進】 ・ふれあい活動助成金を使いやすいように検討 ・助成金未申請の地区のサポート</p> <p>【みそ汁の会の推進】 ・誰でも来てもらえるようなPR ・各自治公民館の形、カラーを尊重し支援 ・インスタント食品を使用して手軽にできる「みそ汁の会」「スープの会」の推奨 ・子どもも参加しやすいような方法の検討</p> <p>【学校との連携】 ・地域学習で子どもと地域の人が交流できるようなイベントを推進（昔の遊び、餅つき、みそ汁の会など）</p>
	<p>⑩ <u>こけない体操横市のつどい</u> (年2回) ・こけない体操サポーターや参加者に参加を呼びかけ。若返り体操講習会を開催。 ・こけない体操は各自治公民館で週1回実施。</p>	<p>【こけない体操の推進】 ・自治公民館の事業として「こけない体操」を位置づけることを館長会で呼びかけ</p> <p>【こけない体操横市のつどい】 ・体操以外の講習（ゲーム等）を企画 ・男性の参加者を増やす雰囲気づくり、男性が参加しやすい形でのつどいを検討</p>
	<p>⑪ <u>男性料理教室</u> (年1回) ・今年度名称を「横市ダンディーズキッチン&カフェ」に変更し、数年ぶりに開催。</p>	<p>【ダンディーズキッチン】 ・計量なし、手間なしの簡単に作れるメニュー</p> <p>【ダンディーズカフェ＝男性の居場所づくり】 ・健康マージャンや将棋、囲碁などのサロンを実施し、各自治公民館でサークルが作られるきっかけづくり ・趣味を活かしたり、役割があって参加しやすいイベントを企画</p>

<p style="text-align: center;">実現するために必要なこと</p> <p style="text-align: center;">①組織体制、②財源、③事務局機能、④拠点</p>	<p style="text-align: center;">目指す地区社協像</p>
<p>【組織体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こけない体操リーダー、民生委員との連携 ・学校、支援学校や地域の団体、青少協や地域の様々な行事、外部講師（料理や音楽）とのコラボ ・中学生ボランティアの参加 ・みそ汁の会を学校の調理実習として開催し、講師は地域の方に依頼 <p>【財源】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治公民館からの協力金を集め、地区社協から各自治公民館へ助成 ・まち協のバザーの収益金 <p>【事務局機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お金、手間のかからない、みんなが集える語らいの場という当初の目的に立ち返りあり方を検討 ・「みそ汁のつどい」に名称変更を検討 ・PRのため「みそ汁の会」ののぼりを立てる <p>【拠点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治公民館単位での開催 ・都原児童センターの活用 	<p>③事務局機能：「事務処理」から「つなぎ役」へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局員の配置 ・相談窓口の多機能化（専門相談会、サロン実施） ・週5日開設 ・地区社協にボランティアコーディネーターの配置 ・地区担当2人体制 ・ICTの活用（報告書類の簡略化、デジタル化）
<p>【組織体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こけない体操リーダー、歴代自治公民館長との連携 <p>【財源】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こけない体操もふれあい活動の助成対象として全面的に推進 <p>【事務局機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「みそ汁の会」、こけない体操、ダンディーズキッチンを「高齢者対策事業（仮称）」として位置づけ、食や健康、生きがづくりなど、柱をたてて事業を展開 ・男性参加者を増やすため、食事会（茶話会）実施の推奨 ・こけない体操の名称変更を検討 <p>【拠点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自治公民館で実施（こけない体操のつどいは地区体育館で開催） 	<p>④拠点：「会議室」から「あたたかい居場所」へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専用机を地区公民館内に配置する
<p>【組織体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治公民館長、民生委員、地域の料理上手な方 <p>【財源】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成金などの活用 ・参加者からは参加費をいただく <p>【事務局機能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実用的なメニューで年間計画を立てて複数回実施 ・参加者アンケートを実施し男性の嗜好を調査 ・ダンディーズキッチンの後に南交遊びやオセロなど遊びを取り入れる <p>【拠点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区公民館 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの居場所の開設 ・空き家・空き教室を活用した居場所づくり ・1地区に複数（2つ以上）の拠点化 ・小学校区でのミニサテライト ・なんでも相談室を雑談室に

地区の風景



都城志布志道路横市インターの風景

策定委員会名簿 ○策定委員長：小林 貴夫 ○副委員長：藤木 美香

No.	氏名	所属
1	柏木 健一郎	横市地区自治公民館連絡協議会 会長
2	松原 光洋	上蓑原自治公民館 館長
3	鎌田 久雄	高齢者クラブ 会長
4	上之浦 由美子	民生委員児童委員
5	小妻 由布子	横市地区ボランティア連絡協議会 会長
6	荒巻 典子	横市地区スポーツ推進委員
7	川崎 和也	横市地区青少年育成協議会 会長
8	三浦 徹也	都城市立西中学校 校長
9	宮田 恭子	都城きりしま支援学校 校長
10	岩元 芳博	都城さくら聴覚支援学校 校長
11	枇杷 善彦	都原児童センター センター長
12	藤木 美香	障害者支援施設みどり園 職員
13	中馬 里美	五十市・横市地区地域包括支援センター 管理者
14	田中 佳子	横市地区地域住民 行政書士
15	森山 和江	NPO 法人おひさまとはらっぱ 代表
16	徳重 久美子	NPO 法人ふくろうの会 店長
17	小林 貴夫	横市地区社会福祉協議会 会長・横市地区民生委員児童委員協議会
18	山元 清人	横市地区社会福祉協議会 副会長・横市地区自治公民館連絡協議会
19	宮之原 泰子	横市地区社会福祉協議会 事務局長・横市地区民生委員児童委員協議会
20	本村 正和	横市地区社会福祉協議会 会計・福祉協力員
21	六部一 幸子	横市地区社会福祉協議会 理事・生活支援コーディネーター